

令和6年度 第1回彦根市図書館協議会 議事録

開催日時：令和6年（2024年）7月4日（木） 14:00～16:00

開催場所：彦根市立図書館 第1集会室

出席委員：北川 祐子 【彦根市立平田小学校 校長】
森 将豪 【彦根市社会教育委員 委員長】
富永 美砂穂 【彦根市地域文庫連絡会 代表】
平井 むつみ 【元滋賀文教短期大学 教授】
北川 句子 【ひこね児童図書研究グループ 会長】
久木 春次 【彦根の図書館を考える会 代表】
木村 正彦 【彦根史談会 会長】
磨谷 絵美子 【彦根市PTA連絡協議会 事務局長】【欠席】
村田 恵美 【滋賀県立図書館 館長】【欠席】

事務局：小島教育部長・田中館長・谷村主幹・別符館次長
吉原管理係長・管理係 小酒井

事務局	ただいまから、令和6年度第1回彦根市図書館協議会を始めさせていただきます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。
	それでは、開会に先立ちまして、教育部長の小島がごあいさつを申し上げます。
教育部長	— あいさつ —
事務局	それでは、次に委員の交代につきまして、ご報告いたします。 北村 正一委員が4月26日付けで、北川 祐子委員に交代されました。また北村 みずき委員が7月1日付けで、北川 句子委員に交代されました。
委員	— 両委員あいさつ —
事務局	ありがとうございました。よろしくお願いいたします。
	—教育委員会事務局および本協議会事務局職員の自己紹介—
	—本日の会議資料の確認—
	次に、会議の成立要件について、ご報告いたします。 彦根市立図書館の設置および管理に関する条例施行規則第22条第2項の規定に

	より、会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができないこととなっておりますが、本日は、委員 9 名のうち、7 名の委員の出席をいただいておりますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。 また、図書館協議会は原則公開としておりますので、お知りおきください。 これより先は、同施行規則第 22 条第 3 項の規定に基づき、会長に議事の進行をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 それでは、会長、議事についてよろしくお願いいたします。
会長	それでは、次第に沿って進めさせていただきます。 まず、議事(1)「令和 5 年度の図書館評価に係る外部評価について」、事務局より説明をお願いします。
事務局	「令和 5 年度の図書館評価に係る外部評価について」 本日の会議におきまして、「評価項目 1－①」から順に、外部評価と評価に対する図書館協議会としての意見をとりまとめていただきますようお願いいたします。
会長	ただいまの説明について、ご意見・ご質問などがありましたらお願いいたします。
委員	(意見なし)
会長	それでは、「評価項目 1－①」から順に、協議会としての評価をとりまとめていきたいと思っております。 とりまとめの方法といたしましては、評価項目ごとに各委員の評価結果を確認いたしまして、大方の評価傾向に従って、皆様の同意を得た上で、「外部評価」を決めていきたいと思っております。ついで、各委員からいただいたご意見がこの中に書いてありますので、この意見を本協議会からの意見とすることについて同意を得る、という方針でやっていきたいと考えますが、よろしいでしょうか。これまでと変わりはない方法になります。 では、はじめます。12 項目ありますが、「基本方針 1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 ー資料・情報提供機能、評価項目 ① 貸出と閲覧サービスの充実」、「1－①」につきましては、図書館の自己評価は B、委員の皆さまの意見は B で同じですので、B としてよろしいでしょうか。
委員	(意見なし)
会長	B といたします。なお、取組予定、取組結果、成果と課題とありますが、図書館協議会からの意見の最後のご意見については、質問ですので、事務局からの回答をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

事務局	たちばな号の利用人数、貸出冊数の利用減についての原因について、お答えさせていただきます。 たちばな号の巡回については、通常通り行っておりましたが、新型コロナウイルス感染症の前と後では、生活スタイルの変化も考えられるのかとも思われます。 巡回場所について、令和 5 年 4 月から、一カ所減っていることもあります。担当職員に状況を確認いたしましたところ、一定の利用者は、変わらずたちばな号を利用いただいているとのこと。また、図書の予約数は一定数あり、Web から予約され、予約した本を取りに来られますが、予約された本だけを借りで帰られる方も多くなっているとのこと。保育園や幼稚園に通園していた子どもさんと保護者の方で、子どもさんが小学生になられると、たちばな号を利用されず、本館へ来てくださるようになるケースもあります。大きく変化しているという事はないということです。
会長	ということで、最後の質問に対する回答ですが、これを書いていた方よろしいでしょうか。協議会からの意見について、文言の調整は事務局の方と私どもに任せていただき、このような内容で意見としてよろしいでしょうか。
委員	(意見なし)
会長	では、よろしくお願いいたします。 次々進めてまいります。何か見落とししていることがありましたら、事務局の方、割り込んでいただきたいと思います。 次に、「基本方針 1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 ―資料・情報提供機能、評価項目 ② レファレンスサービスの充実」につきまして、図書館の自己評価はA、各委員の評価は書いてあるとおりです。いかがですか。
委員	質問よろしいでしょうか
会長	はい。どうぞ。
委員	令和 5 年度の実績数と令和 5 年度の目標の数値について、評価シートの取組結果の説明の中で、算出方法の見直しをおこなったとありますが、算出方法は目標と実績は同じなのでしょうか。
事務局	令和 5 年度の目標の数値を算出した方法と実績の数値の算出方法につきましては、変えております。
事務局	参考までに、皆様にお渡ししております、資料 3 「図書館利用状況等報告書」の 1 ページの 9 番目にお示しさせていただいておりますが、書架案内など軽易な

	もの以外は全て計測するように変更いたしました。
事務局	これまでは、所蔵資料の中でも、郷土資料目録にある古文書や貴重資料の閲覧やご自分の先祖調べなどをされる方などの問い合わせや、問い合わせ内容の聞き取りや資料提供に時間を要するものを、主にレファレンスとしてカウントしておりました。
会長	今のお話をお聞きいただきまして、何かご質問はございますでしょうか。
副会長	レファレンスのカウントは本当に難しいと思います。例えば、「びわ湖の面積を知りたい」とか、どこまでというのは大変難しいと思います。記録は取っておられるのでしょうか。
事務局	はい。次に繋がるように、記録は取っております。
副会長	記録を取られたものをカウントされているのでしょうか。
事務局	記録を取っておりますものはカウントしております。
会長	こちらの評価ですけれども、いかがでしょうか。A でよろしいでしょうか。 それから、今の質問の内容も含めまして、委員の皆さまからの意見が 5 件記載されていますけれども、この内容でよろしいでしょうか。意見として出した場合、回答を何等かその下を書いておかないと、どうなったかということを思うのですが、どのようにいたしましょうか。
委員	アンケートをとって、こっちからいろいろ出していったら、それに対する回答が、市民の方にどういうふうに戻されるのかというあたりもあるんで、その辺は会長がおっしゃったように、ここに簡単に書いていただくとよいのではないのでしょうか。
会長	それでは、回答の内容を簡潔に書いてもらうということでもよろしいでしょうか。
委員	(意見なし)
会長	それでは、「1－②」外部評価は A で、前の質問も同じですが、質問の回答を簡潔に書くということにいたします。 次に、「基本方針 1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 ー資料・情報提供機能、③ 暮らしに役立つ情報の提供」について、図書館の自己評価が B、各委員の評価が書かれているとおりでございます。A を付けられた方からご意見をいただきたいと思います。そのご意見に納得できたら、A に変え

	でも良いと思われる方もおられるかもしれませんので、是非お聞きしたい。
委員	わかりました。A 評価にさせていただいたのは、テーマ展示の実施回数の実績と館内を見させていただきますと、司書さんの思いが前に出ているといいますか、そういう意味も含めて、季節の本であるとか、司書さんが選ばれた本が並んでいます。もう少し展示するスペースも欲しいと思うわけですが、その中でもいろいろ工夫されていて、特にこれだけの蔵書があるので、それをどのように廻していくか、大事なことだと思うわけです。そのようなことで、A 評価にしました。評価指標の(イ)については言いたいことはあるのですが、実際、職員ががんばってやっておられる部分については、A でもいいのではないかと思います、書かせていただいております。
会長	もうお一方はまだ、来ておられませんので。
事務局	欠席されています。
会長	その方の意見を是非聞いてみたいと思いました。その内容によっては自己評価が低いと言われるかもしれないと思いました。
副会長	実績は目標を到達していますが、自己評価を B にされている理由をお聞かせいただきたいと思います。
事務局	テーマ展示など限られたスペースで、工夫して行っておりますが、利用者にとって見やすい状況になっているのか、また狭い状況で無理に展示している部分もあります。また、ヤングアダルトの部分はもう少し充実していないと、と感じておりますので、そういう面では概ねという評価で考えているのですが、現図書館の限界ということも感じておまして、皆さんご存じのとおり、(仮称) 図書館中部館のこともございますので、そちらも見越して、今の状況を維持できていければと考えております。これ以上の評価と言われますと、そこまではどうかと思っております、このような評価をさせてもらいました。それと、意見にもありますように、小学生の取組みというのは、受入も行なっておりますが、中学生の取組みについては十分ではないと思います。現状、そこに特化したものは何もないのかと思っておりますので、B という評価にさせていただきました。
副会長	ありがとうございます。
会長	いかがでしょうか。評価の基準だったみたいですけど。
委員	今の、説明で私は納得できましたので、皆さんの評価で結構です。

会長	というご意見ですが、皆さんいかがでしょうか。
副会長	自己評価に引かれて B 評価にしたのですけれども、今の話をお聞きして、私も B かなと思いました。
会長	B ですね。
副会長	B で。
会長	それでは、外部評価は B とさせていただきます。評価シートの用紙の下の方に協議会からのご意見がありますが、これについてはいかがですか。これを直すとかご意見ございますか。よろしいでしょうか。
副会長	最後に「いずれの指標も目標に達しており、A 評価でも良いのでは。」と書かれているので、よいのではないのでしょうか。
会長	では、これはこのままとさせていただきます。 それでは、次に「1－④」「1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 ー資料・情報提供機能、④ インターネットによる情報の発信」に関して、自己評価は B ですが、外部評価は、B が多くて、A と C に分かれていますがいかがでしょうか。
委員	色々な展示など工夫いただいて、ご努力いただいていることはいつも目にさせていただいていて、よく分かっている分だけ期待値も高いもので、評価を厳しく出ってしまったのだと思うのですが、ただ、私達のグループとしては、ホームページで、もししていただけたらありがたいという部分が少しありまして、それは、ホームページでおはなし会のお知らせをいつもしてくださるのですが、図書館と合同で主催の時には、可愛いホームページになるのですが、毎月の定例会のお知らせになると、毎月同じような形での表記になっているので、できれば、参加すると楽しいと思えるような、例えば、「広報ひこね」ですと、スペースが限られているので、いたしかたないのですが、ホームページですと、多少融通が利く部分があるかと思いますので、楽しい、行ってみようと思えるような感じを出していただけたらありがたいという気持ちを込めて、このようにさせていただきました。
会長	それは意見としては書いていますか。
委員	それは、書けていないかもしれません。
副会長	今おっしゃっていたことで、評価シートの図書館協議会からの意見の上から 2

	つ目を書かせていただいたのですが、「B としましたが、やはり今は…」というのは、A というわけではなくて、今、ネットでの発信というのはどんどん前向きにしていかなければいけない時代だと思います。ですから、ホームページの掲載回数の実績が目標よりも少ないというのは、時代的には加速している中で、少し寂しいのではないかという思いもあります。それとともに、その内容の充実というのは、今特に若い世代は、そこが中心になっているので、おっしゃる意味は私もわかるのですが、一応私は B にさせていただいたところです。
会長	今のお話を伺っておりますと、情報化の時代、せっかくやるからには、皆がその気になるような表現をしてほしいというリクエストだったと思いますので、おっしゃったようなリクエストは、意見としては是非ここに書くべきではと思います。
事務局	それでは、今いただいた意見は、追記という形で書かせていただきます。
会長	それでは、追記ということでよろしいでしょうか。
委員	(意見なし)
会長	追記をしていただきますので、よろしくお願いいたします。
委員	A にさせてもらっているのは、掲載回数については下廻っているのですが、ホームページの掲載の内容が、すっきりと見え、分かりやすいという印象からです。学校もホームページを上げているのですが、市立図書館のホームページは、校正や色彩がよく、どこを触ると何が見えるとか、自分のわかりたいことを簡単に読めるかという工夫がすごく見えてきます。また、子どものページを作ってくださいということで、そこを押しさえすれば、図書館の利用の方法や、工夫が見て取れるなど、これらのことから、A とさせてもらいました。ですが、いろいろお話聞かせてもらって、今の時代、更新していくという大切さであるとか、ホームページ以外に SNS の活用であるとかの必要性を感じますので、A とは評価しましたがけれども、B ということを思っております。
会長	今のお話を伺ってしまして、ホームページは作るのが難しいですね。ユーザーが見た時に、どこに自分が欲しい情報があるのかをたどらなければならない。それが一番底にあったら、そのホームページを二度と見ようとしない。次見た時には、どこに行ったかわからない。その点では、委員のご発言は、工夫したホームページの項目の階層構造のジャンルがうまくできているということになろうかと思えます。
事務局	少し、実績の内容について言わせていただきます。ホームページの掲載回数についてですが、昨年度、工事を行ったことによる臨時休館等により、館内でのイ

	ベント、おはなし会などを行えなかったことも影響しております。
会長	工事やコロナもあり、条件の悪い中での評価ということで。評価は B でよろしいでしょうか。
委員	(意見なし)
会長	また、意見についても、追記ということで、よろしくお願いいたします。 次、「2ー① 基本方針 2 歴史あるまちとして、郷土の文化を守り伝える図書館 ー資料収集・保存・支援機能、① 資料収集・受入・整理」というところですが、自己評価は B ですが、内部評価は A と B が拮抗しているといった感じですが、図書館協議会からの意見も含めまして、いかがでございますか。
副会長	こちら、自己評価を B にされた理由をお聞きしたいのですが。
事務局	資料の中には古文書などもありますし、通常開架に出せるような製本されたものもあります。こちらは利用いただいておりますが、膨大な古い資料については、十分に活用されていない状況でありますので、簡単に出せないところもあるのかと思います。古い資料ですと紙が古くなったり、保存管理が重要になってくるので、それをどのように活用させていくかが課題なのかと思います。お金もかかるのでしょうけれども、データ化していけばいいのでしょうけれども、今の市の状況では、新たな取組みは難しいと思います。受入は積極的にさせていただいておりますので、実績数字は上がっていくものではあると思うのですが、活用の部分では十分にできていないと思いますので、また、意見の中で書いていただいておりますように、歴史資料館機能を有する施設整備ということも十分考えたいところではあると思っております。その辺は将来的には、中部館をうまく使い分けていけるといいのかと考えております。現状としては、B でやむを得ないのかと考えております。 収集保存は十分していきたいと思っております。
会長	ありがとうございます。意見として書きました。図書館協議会では、これまで、歴史的な資料館機能について、ずっと、1 市 4 町の中でどのようにするのか決まっていた中で、図書館の 3 館体制という時に、彦根が財政不足で。手順を踏んで進めてきたことが脇道に逸れだしてしまって、なかなかできないという、これは図書館のせいではないという思いで、A にした次第です。A にすると同時に、こっちのほうを早くやってくれというので、協議会からの意見というのは、協議会を通じて、市の方に出るわけですから、出すべき意見として、書かせていただきました。 となつて、A が 5 件、B が 4 件、いかがさしてもらいましょうか。

委員	ここで B にさせていただいたのは、図書館の方の説明も加味しながら、今考えても B で妥当であったのかと思うんですが、ただ、次の「2-②の資料の保存・活用」こちらの方を重く見たのですが、取組結果で、「積極的な寄贈資料の受入と購入を行った」ということで、受入冊数が目標値を上回った、この部分だけで見るのであれば、保存ということは大事なので、積極的に受け入れるという意味で、実績を上回ったということは、A 評価でも良いのではないかと思います。
会長	というご意見でございます。
委員	郷土資料ですが、寄贈資料の受入と購入を行ったということですが、寄贈資料というのは年々増えているのでしょうか。
事務局	郷土資料としまして、図書館として保存すべき資料として、例えば彦根市の統計書などの彦根市に関連する資料についてもいただいておりますので、それらも入っております。また、郷土に関する資料については、市民の方からも貴重な資料につきましては、寄贈いただけるお話がありましたら、書庫の状況によりまして、全部というわけにはまいりませんが、可能な限り資料も収集していく必要があると考えておりますので、積極的に受け入れるようにはしております。また、出版される図書についても、できる限り購入していております。
委員	購入もしながら、郷土資料の充実を図っているということですか。
事務局	郷土資料でも出版されているものも、新たに購入しております。
会長	それでは、外部評価は A、協議会からの意見もそのままいたしますが、よろしいでしょうか。
委員	(意見なし)
会長	次に、「2-②」です。「基本方針 2 歴史あるまちとして、郷土の文化を守り伝える図書館 一資料収集・保存・支援機能、② 資料の保存・活用」ということで、自己評価が B、皆さま方のご意見が 5 件挙がっております。いかがですか。
委員	先ほど申し上げましたとおり、資料の収集ですが、これは非常に大事な事で、たくさんあるということは、それだけ図書館に対する信頼度が高いという意味でもありますし、図書館の機能をよく理解してもらった上での事だとは思っているので、それについては、私も A であっても良いと思ってさせてもらったのですが、それをどう保存、活用していくか、民族資料館とか〇〇歴史資料館とかというものと図書館が古文書や歴史的な資料を収集することの意味があると思うのです。例えば、資料館へ行って、すぐに見たいのですが出してくださいといっても、手続き

	上、出せない事があると思います。よく言われるのが、図書館は、公開が原則ですから、歴史的資料を持つメリットというものがあると思います。図書館にこういうものもあるんですよというものも積極的に図書館の中で出していく、そうすると、それに興味を持った方、図書館に来て、歴史的な事や郷土の事についていろいろ知りたいという方は足を運べる。本を読みたいと言う利用者に加えて、図書館に足を運んでもらうそういうふうな人を増やす手立てとして有効ではないかという意味も含めて、このような書き方をさせていただきました。
会長	彦根の図書館には歴史的資料があるという他館にない非常に大きな強みで、3館体制で運営するということをずっと議論をしてこられたという経緯がありますので、貴重なご意見であるとともに、他にないものの資料をいかに生かしてアピールするかが、彦根の図書館たる所以かもしれません。大事なことです。
委員	私の方で C 評価させてもらったのですが、先ほど図書館長からの話がありましたが、中部館とここの住み分け、いわゆる基本計画の中でもここは歴史資料館としての重みも残していきたいというそのことも踏まえて、B 評価で、一つの意見として、B ということで結構です。
会長	歴史資料館としての色彩が強い。そこで積極的に公開しているということで、B ということでしたので、B とさせていただきますが、よろしいですね。ありがとうございました。 次に、「3-①」でございますが、「基本方針 3 子どもの健やかな成長と豊かな心を育てる図書館 一学びの場の提供、①子どもの読書活動の推進」というところです。これは A が 2 つ後はみんな B ということで、意見の最後のところ、これについては質問のような形ですので、これについても、ご紹介、ご回答いただけたらと思います。
事務局	「未就学児の登録者数の減少は、次頁 3-②の「ブックスタートのつどい参加組数」の減少と関連するのでしょうか」というお尋ねについて、でございますが、未就学児への、新規登録を勧める方法の一つとして、令和 5 年度は「ブックスタート」事業として、10 か月児健康診査時に絵本のプレゼントと図書館の PR を行い、図書館を利用いただくように、啓発を行ってまいりました。併せて、「ブックスタートのつどい」は、別日に希望者を募り、図書館や地区公民館などで開催いたしました。こちらでも新規登録を勧めるという点では、大切な啓発の場となりましたが、参加者が伸びなかったこともあります。近年、出生数も少なくなっていることもあり、減少していることも考えられるかと思います。 参加組数の減少と未就学児の登録者数の関連という点で、「ブックスタートのつどい」で来られた保護者に対して、もう少し積極的に新規登録について説明をおこなえばよかったのではないかと思いますし、登録者数については、様々な機会に啓発を行っていく必要があると思いますが、このような結果になっておりま

	す。
会長	ご異論ございましたら、おっしゃってください。よろしいでしょうか。そうしますと、〇〇委員は A としておられますが、ご意見をいただきましたと思います。
委員	目標に対して、実績が相当増えているんですが、ご説明によりますと、団体カードに変えたその分であるんですけども、図書館といたしましては、子どもたちに読書活動を進めるというのは、基本ですので、目標より上がっているということは評価すべきだと思います。これを公開させるのでしたら、図書館にとってはメインですので、図書館は子ども達にどんな対応をしているのかということに関心を持たれるので、皆さん B に評価させているんですが、私は、A でも良いのではないかと思います。
会長	A としておられますが、ご意見をお聞きいたします。
委員	子どもたちは読書をするということは好きなんです。本を触るだけでも好きだし、教室に入りにくい子どもも、本を見るだけで落ち着いたりとか、読んでないけど絵を見ると、友だちと過ごせたり、本はいろんな魅力があると思っています。入学してきた子どもたちは、学校図書館という図書環境の中で過ごすのですが、2年生の生活科の中で、みんなのまちの施設を知ろうということで、図書館の勉強をする時に、市立図書館にご協力いただけるというのは本当にありがたい。子どもたちがこの場に来て、図書の数や、いろいろな工夫を見ると、学校図書館とは違った発見がたくさんあって、司書の方にお話を聞かせていただいたり、利用の仕方であったり、工夫されていることを聞かせてもらったり、日頃見られない蔵書のスペースを見せてもらったり、たちばな号に入れてもらったり、いろいろ、工夫して見学させてもらおうということ、団体で貸出してもらったり、全面的に子どもたちの読書活動をささえていただいているという思いがあります。見学だけではなくて、授業の中で、国語科では教材を勉強するのに、平行読書であったり、この作者の本をお願いしますといったリクエストに応えていただいたり、シリーズの本といったリクエストであるとか、いろいろと学校と連携しながら、学校を支援していただいています。子どもたちの読書活動を推進していただいているというスタンスが、ありがたいなということを感じまして、A にさせてもらいました。
会長	A にするか B にするか、実は迷いました。ブックスタートという非常に大事なことが図書館の啓発努力にもかかわらず、重要なこととは感じてもらえないのでしょうか。そうすると、これだけ活字離れが進んでいて、本を見る機会がなくなると、今、委員のお話をお聞きして本を見るだけでも随分違ってくる。私は A でも良いのではないかと思います。個人的な意見です。

副会長	本当にがんばっていらっしゃると思います。ただ、子どもの読書活動にしても、次の学びの場ということにしても、本来は、図書館だけが負うものではないと思います。学校と図書館、学校と地域、全部がうまく連携した中で育てていくものだと思います。その中で、図書館は図書館の役割がある。そういうことが、あまりきちとなっていない中で、図書館はがんばっていらっしゃると思っているんです。ですが、そういった意味で、市としての子どもの読書活動あるいは学びというものを、地域と学校と家庭できちんと把握して、市として子どものそういうものを育てていこうという体制が見えないというところで、図書館としては大変よくがんばってらっしゃると思ったのですが、そのところで、図書館のせいではないんですけれども、Bという評価をさせていただいて、逆に次のところを私はBにしているんですけれども。そういう中でよくやってらっしゃると、私としては思っている、そういう状況です。
事務局	市としては、子ども読書計画ということで、図書館と学校と家庭ということで、市では生涯学習課というところが主になって、図書館も入った市の中の組織で学校の役割、図書館の役割、家庭の役割ということに分けて、計画は立ててやらせていただいているという形にはなっています。その中で、図書館の役割ということで、書いていますような事業を行っています。市としては、そういった計画があり、その中で、図書館の担うべき役割を十分やっていこうという取り組みをしているところです。
事務局	学校と図書館との連携としましては、図書館としては、学校の学習の中で必要な図書がありましたら、図書館と連携して、学校の先生にはなるのですが、先生が授業で必要になるものについては、学校の図書室ではそろえられないものもあるかと思います。そこは、図書館は資料をそろえられるということもありますので、連携して進めていくというところと、図書館の情報を学校へ提供していくということでは、学校と図書館は連携して繋がっていると思います。深く地域までというところまでは、できていないかもしれませんが、繋がっていくということはあるかと思います。
会長	どうされますか。私自身は A で結構ですという形にあるのですが、お一人お一人、どうされますか。〇〇委員いかがですか。
委員	A で結構です。
委員	私は協議会からの意見ということで、何度も小学校の高学年の図書館見学会というのを実施してほしいということは言っております。なぜかという、一般論かも知れませんが、中、高に至るまで、進学、クラブ活動、部活、どんどん読書の時間が取られてしまう。また個人的には、スマホなどに子供たちが接していく中で、どこかで、中学校あるいは中学校から高校への読書を繋いでいくかとい

	うと、2年生については、私も学職を経験しておりますので、やってきた通りなのですが、肝心なのは、もう一回、高学年、5年、6年は忙しいですから、そのへんのところはきちっと、ここでやっていただいているようなことがいるのではないかなと思うんですが。これがないと、なかなか、低学年を持った場合と、高学年を持った場合とでは、学校の図書室に入っても、差が出てきているから、そのころからパソコンが出だして、学校教育の比重がそちらに動いたとたん、離れていったのを実感していますので、そういうところを含めると、もう一つ欲しいと思います。これについては、図書館の事業の中の一環ということになりますので、厳しいところもあるかもしれませんが、そういう部分は欲しいと、あちらこちらで書かせてもらっているのですが。そういう思いもあって、B評価にしています。
委員	本と子どもとの出会いは早い方がいいという意味では、ブックスタートは大変重要だと考えます。そういう意味でいうと、図書館のせいではなくて、別々の動きになってしまっているの、これはいたしかたがないのかという思いもありますが、ブックスタートの部分をもう少し強化していただけるとありがたいという思いがあります。ただ、先ほどの事情もいろいろありますので、Aでよいかなと思います。
副会長	図書館単体で見た時には、がんばっておられると思います。
会長	どうさせていただきますでしょう。Aでよろしいでしょうか。
委員	子どもたちへの積極的な図書館の利用についての啓発的な取組を行っていただくということを留保させていただいて、結構です。
会長	図書館利用についての啓発。
委員	どのような形になるかわかりませんが。
会長	これからの計画書の中で、反映させていただくという形で。条件付きで、それは表には出てきませんが、メモをとっておいて、次の計画の中に入れていただくしかないと思いますけれども。そういう条件のもとで、Aとさせていただきます。 次に「3-②」について、「3 子どもの健やかな成長と豊かな心を育てる図書館一学びの場の提供、② 子育て関係機関・団体との連携」ということで、図書館は自己評価をCとなっております。Cについて、図書館の方からのご意見を伺う必要があると思うんですが。
事務局	ブックスタートに関しましては、それまでは同じ場所で出来ていたのですが、事業の中身が変わってきたということで、先ほどの話とも関連するんですが、そ

	の中で、事業指標を作らせていただいて、評価させてもらっているということもございますし、現場で出来ると良いのですが、その中で、できなかった部分をフォローする意味での、つどいということで、書かせていただいたのですが、これもまだ、来ていただける方は興味ある方が中心になるのですけれども、全員でその場で出来るとは事業のつくりが変わってくるので、その辺が難しいところがあるのかというところで、先ほどのお話にもあった市全体での連携という部分で十分ではなかった部分もあろうかとも思いますので、評価としては、全体的に数字として、低調になってきているということもありますので、C評価ということで、自己評価をさせていただきました。
会長	見ていただいたように評価はCが多いです。
事務局	協議会からの意見の中に、公民館等に出向く意気込みが欲しいというご意見もありますけれども、健診の制度の進め方が変わってきているのですけれども、変わった当初に、ここだけではなくて、稲枝の方、南の方、中部の方の公民館で、読み聞かせ会を開催するような取組をしていたのですが、健診に来られた中で読み聞かせをおこなうのではなく、改めて参加いただくということは、難しいということもあって、なかなか参加者が伸びなかったということで、一応取組はさせていただいていたこともありますが、そういうところもございまして、ブックスタート自体の形は今年度から、変わっているのですが、今年度からの新たな取組として、「ひよこタイム」ということで、今は第1木曜日の午前中、子どもさんが図書館に来ていただいて、少々声を出してもいいですよというようなことで、図書館に来ていただける取組なども、補うという意味での取組みもやっていきまして、ご意見あったように、幼少期からの本とのふれあい、保護者と子どもさんとの絆を強めるというようなところも含めて、従来のブックスタートとは変わってきていますけれども、なるべくそういった、幼少期からの本とのふれあいの機会を増やすというところは、今後も努力していきたいと思っております。
副会長	私がBとしたのは、図書館だけでどうにかなるというものではないという部分があったので、Bにさせていただきましたが、みなさんのご意見がCでしたら、Cでよいと思います。
委員	私もBにさせてもらっているのですが、読み聞かせボランティアさんの件を重点にして、Bとさせてもらいました。一生懸命やっけていただいている人材が各地域にもおりますし、それぞれの地域の特性を生かしながら、人材発掘、人材育成が課題だというような地域がたくさんある中で、よくやっけてくださるという思いがあります。色々なご意見を聞いた中でCにさせてもらっても、支障ないです。
会長	〇〇委員いかがでしょうか。

委員	私は B なんですからけれども、読み聞かせ参加ボランティア人数が実績で 109 名おられるわけですね。でも、事前に予約制で図書館等で実施したが、参加者を増やすことはできなかった。となっているのですが、参加者が増加する以前の問題で、ボランティアがいらっしゃるということは、図書館としては一応対応されているわけですね。図書館としては対応されていますので、C ではなく B かと思います。平均的なアベレージで評価させていただきました。基本の対応は図書館はされているのですから。ここではボランティアの育成ということで、育成事業をされているわけですね。
事務局	取組の方向のところ、ボランティアの育成となっておりますが、実際の活動につきましては、読み聞かせなどで活動いただいているということです。年間通じて、おはなし会を取り組んでおりまして、ボランティアのみなさまにもご協力いただいて活動いただいております。また、読み聞かせ参加ボランティア人数につきましては、年間を通じて、図書館でおはなし会で活動いただいているボランティアの皆さまの活動のべ人数となっております。
事務局	育成という言葉に対して研修会というようなイメージを持っていたいているのかと思いますが、図書館としては、そういう取組みは今の図書館ではできていないのは事実ですけれども、いろいろなボランティアの方々に参加いただいている中で経験を積んでいただくということもありますし、延べ人数ということですので、それぞれの回数を合わせまして、参加者の総計ということになりますので、回数が少なければ、延べ人数は減ってきますし、実際させていただいた時点で、若干去年少なかったところもありましたので、人数が減っていることもあるのかと思います。
事務局	読み聞かせボランティアの研修についてですが、ブックスタートで活動いただいております、読み聞かせボランティアの方々には、研修をしておりましたので、この中には、その方々に対する研修をしておりましたので、研修をしていくということの中に含まれております。市の主催の事業もありますし、依頼しております事業もございます。様々なボランティアの方々に関わっていただいております。
委員	保護者への周知徹底のところは。
事務局	「ブックスタートのつどい」についてでしょうか。このことについての保護者への周知につきましては、健診にきてくださった保護者の方に啓発活動をさせていただいたり、ホームページでもお知らせさせてもらってございました。ブックスタートのつどいについても、是非ご参加くださいということで、啓発もさせていただいていたのですが、改めて図書館にお越しくださいということになりますと、なかなかお越しいただけなかったということです。

会長	外的な要因によって、なかなか実現できないところもありますが、実質やっ ていただいているということは、われわれよく存じておりますので、外部評価と しましては、図書館の内部評価と同じく、Cということによろしいでしょうか。 それでは、Cということで、また、協議会からのご意見もこれでよろしいですね。
委員	よろしいでしょうか。評価はこれでよろしいんですが、先ほどのお話のあった、 「ひよこタイム」のことですが、ちょっと説明していただけたらありがたいので すが。
事務局	後ほど、今年度の取組みということで説明させていただきます。 あくまで、令和 5 年度の実施事業ということで、ご理解いただきたいと思いま す。
委員	わかりました。結構です。
会長	次、「4－①」です。「4 心のやすらぎを与える居心地の良い図書館 一滞在型 図書館の機能、① やすらぎのある図書館づくり」です。 自己評価はB、協議会委員の評価は皆さんBです。図書館協議会からのご意見が ありますけれども、いかがでございますか。
委員	(意見なし)
会長	続きまして、「4－②」「4 心のやすらぎを与える居心地の良い図書館 滞在型 図書館の機能 ② 居場所としての図書館づくり」です。自己評価がC、各委員の 評価が分かれております。
副会長	私はBとさせていただいたのですが、自己評価Cとされた理由をお聞きさせて いただけないでしょうか。来館者の大幅減ということでしょうか。
事務局	見た目で見ると、そういうことになると思うんですが、資料3 「利用状況報告 書」の1ページをみていただきますと、令和5年度の入館者という数字ですが、 163,313人という数字になっています。コロナの関係もありまして、令和2年の中 頃から令和4年の9月24日まで、入り口の入り方が変わっていたというところも ありますし、令和5年度に入ってから是一方通行でなくなりましたので、コロナ 以前のカウント方法に戻したということがあります。かならずしも、コロナの時 の人数が適切な人数であるかということは疑問を持っておりまして、若干その辺 も含めて、それ以前の状況も調べてみたのですが、令和2年、令和3年、令和4 年ぐらいが、コロナの影響が入ってきたのかと思っているのですが、それ以前の 状況ですと、平成30年度ですと、約15万人、平成29年度ですと、約18万人、 平成28年度ですと、約19万人、昨年度に関しましては、休館もしておりました

	し、トイレが全く入れないという状態もありましたので、そういう面も含めますと、元の数字に戻っているようにも思いますが、コロナの時の数字というものの疑問点も含めまして、例えば資料の利用者数であるとか、資料の利用冊数はそれほど大きく落ち込んでいる状況ではないので、今回、入館者という事に関しましては、こちらとも思い感じる部分ではあるんですが、通常の利用状況については、そんなに大きく変わっていないのかと思っていますし、利用もしていただいていると思っているところですが、数字がこれだけ大きく下がっていると、評価としてはCということにはなってくるのかと思います。実際、休館していたということや、冬場でしたので暖房が使えなかったということで、利用される方にご迷惑をお掛けしたということもありましたので、Cといたしました。
会長	指標がこれである以上。
副会長	休館したこと自体をおっしゃっているのであれば、そうなのかと思います。
会長	〇〇委員いかがですか。
委員	わたしも同意見で結構です。
会長	そうなりますと、これは、C、自己評価と同じCということで、図書館協議会の委員の皆様からの意見につきましては、このような形でよろしいですか。
委員	(意見なし)
会長	では、次にまいります。次は「5-①」です。「市民の活動・交流を通して、新たな出会いを発見できる図書館—活動支援機能 多目的な活動を支える場所の提供」ということで、自己評価はB、各委員の評価は書かれてあるとおりです。これに関していかがですか。
委員	私どもの会では、20年ほど利用させていただいているのですが、以前は利用できる部屋が二つありまして、大人数の会ではりませんので、通常の例会とか、図書館との懇談とかは小さな部屋でできますし、学習会を何回かさせていただいたりとか、うまく住み分けができていたのですが、やはり、改修工事があったりした中で、第1集会室のみでという事を図書館側から言われたりして、活動を支える場所の提供ということでは、いろいろな会の方で、貸館ではなくて、図書館と連携した活動ということをそれぞれの会がやっておられるはずですので、その辺上手くさせていただけるとありがたいという意味も含めて、こういう風な評価にしました。
会長	今後の活用はどう工夫するかということに問題は残るわけですけど。

委員	貴重なご意見ですね。これも、次の計画に役立ててもらおうということで、B でしょうでしょうか。 (意見なし)
会長	それでは、外部評価は B といたします。皆さまからのご意見も入れて対応してもらいます。 それでは、最後ですが、次の「5－②市民の活動・交流を通して、新たな出会いを発見できる図書館―活動支援機能、②図書館に関わる各ボランティア団体との連携と協力」です。これは自己評価が B 外部評価も皆さん全員 B となっておりますので、外部評価は B だろうと思います。あと、図書館協議会からのご意見でございますが、これについて、何かございますか。なければ、これで対応いただきます。
委員	(意見なし)
会長	最後に、「評価項目 5－②」まで外部評価が終わりましたので、議事(1)「令和 5 年度の図書館評価に係る外部評価について」の協議の結果につきまして、確認だけさせていただきます。 評価シートの一冊左上の「1－①外部評価は B」で、図書館協議会からの意見のところに、最後の質問に対する回答がありましたが、回答をコンパクトにまとめて書いてもらうということでよろしいですね。「1－②は外部評価が A」で、これも、図書館協議会からの意見の最後の質問についても、回答を付け加えるということで、お願いします。「1－③は外部評価が B」、「1－④は外部評価が B」、「2－①の外部評価が A」、「2－②の外部評価が B」、「3－①の外部評価が A」、これはご意見ありましたけれども、小・中・高校生への図書館のアピールという点につきまして、積極的にこれから努力していただくという条件の下で良いというご意見がございましたので、今後の計画を立てる際に、反映させていただきたいと思います。それから、その評価シートの裏のところにも、未就学児の登録に関する事に対する質問に対する啓発の不足ということに関する事などの原因などがありましたので、回答に値するものをつくらせてもらうという形です。 「3－②の外部評価は C」です。「4－①は外部評価が B」、「4－②の外部評価が C」、「5－①の外部評価が B」、「5－②の外部評価が B」ということで、以上で「令和 5 年度の図書館評価に係る外部評価について」の協議は終了いたします。 引き続きまして、議題 2 「令和 6 年度の図書館事業」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	令和 6 年度図書館の事業につきまして、ご説明させていただきます。お手元にお配りいたしております、「令和 6 年度彦根市教育行政方針図書館抜粋分」によりまして、ご説明させていただきます。

	(内容について説明) 以上でございます。令和 6 年度におきましても、現図書館の運営と改修を行いながら（仮称）図書館中部館の実施設計を進めてくこととなります。 これまで以上に職員一人ひとりが計画的に行動していかなければならないと考えております。 今後とも、委員の皆様には、ご理解、ご協力をお願いいたします。 ありがとうございました。
会長	先ほどの協議の中で、ひよこタイムについて、委員からご質問がありましたが、そのことについてよろしいでしょうか。
委員	もう少し具体的に、どんな形なのか、お願いします。例えば、小さな子どもさんを連れておられて、子どもさんの声が大きいし、行きたいけれども行けないとかありますが、そういう人を呼び込もうというふうなことも考えられると思いますが、具体的にどういうふうなことなのか、先ほど、工夫とかおっしゃいましたので、その辺ありましたらお願いします。
事務局	ご理解いただきたいのが、何かするイベントではございませんので、あくまで、この時間にそういう人に多く来ていただきたい、一方で、一般の来館される方に、こういう方が来られる時間であることをご理解いただくような時間というイメージを持っていただきたいと思います。うるさいと思わずに、親子連れの方に来ていただいて、少しは騒いでいただいても、温かく見守ってくださいという意味での、タイムということです。そういう方を優先的に気兼ねなく入っていただきたい。あくまでも、タイムの設定です。今のところはそうように考えています。何かするイベントというタイムではありません。
副会長	一つお聞きいたします。入口に例えば・・。
事務局	入口に看板を設置しております。また、児童開架にもポスターを貼らせてもらっています。
会長	よろしいでしょうか。
事務局	ホームページにも揚げさせていただいております。7 月には、デイトスリップの方にも啓発を載せておりますし、一般のお客さんが本を借りに来られた時に PR しています。定期的に変えながら、やっていきたいと思っております。定着するまでに時間がかかるかと思えます。始めたばかりで、2 か月です。
会長	ありがとうございました。他に質問はありませんね。

委員	迎えるだけという感じでしょうか。
事務局	今のところそういう考え方で、他も同じようなことをしておられるところがあると思いますが、まずは入口ということで、来ていただきたいということと、来ておられる方のご理解という部分で、両方考えていかないといけないと思います。
会長	ありがとうございました。 それでは、委員の皆さまのご協力によりまして、円滑な議事の進行ができましたこととお礼申し上げます。 議事が終了いたしましたので、進行を事務局にお返しします。
事務局	ありがとうございました。本日ご議論いただいた外部評価については、細かな文言等は事務局において調整し、会長副会長の了解を得て、教育委員会で行っている教育に関する事務の管理および執行の状況の点検・評価の発表時期と調整のうえ、公開をしたいと考えておりますので、よろしくお願いします。 これを持ちまして、本日の議事は終了いたしました。傍聴のみなさまご退席いただきますようお願いいたします。 — 議事終了 —
事務局	議事が長時間にわたりましたので、ここで委員の皆様は 5 分程度の休憩を取らせていただきます。 休憩後に、「3 その他」といたしまして、事務局からご報告させていただきたいことがございますので、引き続きよろしくお願いします。 （ 休憩 ）
事務局	休憩前に引き続きまして会議を再開します。 それでは、「3 その他」といたしまして、事務局からご報告させていただきます。 — 報告 — — 質疑応答 —
館長	ありがとうございました。それでは、協議会の閉会にあたりまして、図書館長がご挨拶を申し上げます。 — あいさつ —

事務局	それでは、これもちまして第 1 回図書館協議会を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。 なお、今年度は後もう 1 回、図書館協議会を予定しております。 第 2 回目の図書館協議会は、令和 7 年 2 月から 3 月の時期に予定しております。日程につきましては、改めて調整させていただきますので、よろしくお願いいたします。 — 終了 —
-----	--